

令和6年度
全国ソーシャルケア連盟
第1回総会資料

令和7年1月23日(木)

午後17時10分～18時

星稜会館4階会議室

はじめに

全国ソーシャルケア連盟は、設立目的を「社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士の福祉専門職の社会的地位の向上及び国民の福祉の向上」とし、ソーシャルケアサービス研究協議会の政策部会を解散してその基盤から、令和6年1月15日に設立しました。

設立発起人は、相原 和子（東京都）、石川 到覚（神奈川県）、石本 淳也（熊本県）市川一宏（東京都）、市川 知律（三重県）、今村 浩司（福岡県）、伊東 秀幸（神奈川県）、岡崎 仁史（広島県）、柏木 一恵（大阪府）、門田 晋（富山県）、門屋 充郎（北海道）、鎌倉 克英（香川県）、橘高 通泰（京都府）、熊谷 忠和（岡山県）、笹岡 眞弓（北海道）、清水 剛志（富山県）、白澤 政和（三重県）、竹中 秀彦（愛知県）、対馬 徳昭（北海道）、中谷 陽明（神奈川県）、服部 恭弥（山口県）、早坂由美子（神奈川県）、丸田 一郎（愛媛県）、宮崎 則男（新潟県）、森 久紀（茨城県）、山本 克哉（島根県）、渡部 幸雄（秋田県）＜敬称略＞の27名の方々です。

連盟設立までの背景の概略は以下です。上述した「ソーシャルケアサービス研究協議会」はソーシャルケアに従事する専門職団体、専門職の養成団体に加えて福祉関係の学会の参加を得て平成12（2000）年に設立されました。初代の代表は仲村優一氏であり、2代代表大橋謙策氏、3代代表白澤政和氏から現在西島義久氏が代表として活動しています。協議会の政策部会は、公益社団法人日本社会福祉会、公益社団法人日本介護福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟の5団体が主に中心となって、活動を進めてまいりました。政策部会主導による議員会館における勉強会を数回開催した成果を踏まえ、上述した5団体も協力し、令和元（2019）年6月6日、「地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟」が創設され、その活動には積極的に協力体制を作ってきました。この議員連盟は福祉専門職の位置づけを支援するもので、超党派で創られています。

創設時の役員は、会長；**田村憲久**（自民党）、事務局長；橋本岳（自民党）、顧問；**尾辻秀久**（自民党）**福島みずほ**（社民党）、副会長；**衛藤晟一**（自民党）、高木美千代（公明党）、高橋千鶴子（共産党）、**古川元久**（国民民主党）、幹事長；**阿部知子**（立憲民主党）、幹事；**東徹**（維新）、**伊藤孝江**（公明党）、宮沢由香（立憲民主党）、事務局次長；**田畑裕明**（自民党）でした。数々の選挙並びに引退などを経て、現在黒字の方に加えて、幹事に**岸真紀子**（立憲民主党）（以上敬称略）が入った構成で活動をしています。なかでも会長と事務局長の事務所には要望事項の達成にむけて多大なご尽力をいただきました。

こうした背景を踏まえ、「全国ソーシャルケア連盟」は設立いたしました。この連盟は、当然のことではありますが、上記に職能団体や養成団体とは独立した組織ではありますが、同時に、そうした団体の活動を側面的に支援していくことになります。そのため、福祉専門職の

職能団体や養成団体と連携しつつも、別の組織として役割分担しながら活動してまいります。

会長 笹岡 眞弓

第1号議案 令和6年度活動内容

令和6（2024）年度の活動は、1月15日の設立総会を発起人とともに開会し、役員として、会長を笹岡眞弓（北海道）、副会長を石川到覚（東京都）、鎌倉勝秀（香川県）、石本淳也（熊本県）、竹中英彦（愛知県）を選出しました。全国ソーシャルケア連盟の事務所を北海道に置き、直ちに北海道選挙対策委員会に届け出、設立を許可されました。その後、寄付口座（東京三菱UFJ銀行）と、会費納入口座（ゆうちょ）を開設しました。

発起人の方々には、幹事をお願いし、お引き受けいただける方に名刺とチラシを配り、会員募集を開始しました。適宜役員会議を開催し方向性を決定しました。具体的には下記の活動をいたしました。

1. ホームページを開設しました。北海道札幌市に所在する「広報案内広告社」に依頼し、当連盟のホームページを開設しました。3社から相見積もりを取り、役員会議で審議し決定しました。
2. 6月に開催された地域福祉学会の配布物に、当連盟のチラシの封入を依頼しました。さらに日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士会、日本医療ソーシャルワーカー協会の全国大会では、チラシを置くなどの手段を講じ、会員の募集を図りました。
3. 秋の衆議院選挙に向けて、推薦状を発出しました。「地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟」の役員の方々からお申し出のあった田村会長、橋本事務局長、阿部知子幹事長の3名の方に推薦状を送付しました。
4. 田村議員の選挙区事務所（三重県）には10月18日白澤政和発起人が訪問し、橋本議員の選挙区事務所（岡山県）には10月14、15日笹岡眞弓が訪問しました。
5. 議員連盟の役員の方々の当選者の方々には、10月30日に当選のお祝いを申し上げるために事務所を訪問しました。事務局長であった橋本氏の事務所引き上げへの挨拶も同時に行いました。
6. 令和7年に行われる参議院選挙における医師会候補の釜范敏氏の10月25日に全国老人保健施設勉協会事務所で開催された勉強会に、連盟会長の笹岡眞弓と副会長の石本淳也が参加しました。
7. 8月27日、12月17日に開催された田村憲久社会保障勉強会に、連盟として参加しました。職能団体及び養成団体の参加を求め、柔軟に対応していただきました。
8. 9月25日に開催された橋本岳を囲む会、12月27日に開催された橋本岳前進の集いに連盟として参加しました。職能団体及び養成団体の参加を求め、柔軟に対応していただきました。

令和6年度の収支決算報告

自／令和6年1月1日 至／令和6年12月31日

1 収入簿	収 入 総 額		1,283,450
	前 年 繰 越 額	0	
	本 年 収 入 額	1,283,450	備考
1 個人の負担する党費又は会費	246,000	3,000×82名	
2の1 寄附(政党匿名寄附を除く。)	1,031,407	個人×20名、団体×2	
(寄附のうち寄附のあっせんによるもの)	0		
2の2 政党匿名寄附			
3 機関紙誌の発行その他の事業による収入			
(1) 機関紙誌の発行事業	0		
(2) 政治資金パーティー開催事業	0		
(政治資金パーティーの対価に係る収入の内訳)	0		
(政治資金パーティーの対価に係る収入のうち 対価の支払のあっせんによるものの内訳)	0		
(3) その他の事業	0		
4 借入金	0		
5 本部又は支部から供与された交付金に係る収入	0		
6 その他の収入	6,043	次年度会費預かり、銀行利子	

2 支出簿	支 出 総 額	1,409,383
1 経常経費		備考
(1) 人件費	0	
(2) 光熱水費	0	
(3) 備品・消耗品費	0	
(4) 事務所費	0	
2 政治活動費		
(1) 組織活動費	468,710	
(2) 選挙関係費	0	
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費	0	
ア 機関紙誌の発行事業費	0	
イ 宣伝事業費	585,750	HP作成及び保守
ウ 政治資金パーティー開催事業費	0	
エ その他の事業費	0	
(4) 調査研究費	0	
(5) 寄附・交付金	0	
(6) その他の経費	4,950	振込手数料
3 次期繰越		
(1) 人件費	240,000	
(2) その他の経費等	109,973	

令和6年12月31日現在

I. 資産の部

(1)現金		0	0
(2)普通預金	ゆうちょ銀行	130,468	225,825
	三菱UFJ銀行 札幌支店	95,357	
(3)未収入金	会費(9名分)	27,000	27,000
資産合計			252,825

II. 負債の部

(1)未払金	人件費	240,000	349,973
	消耗品費等立替	109,973	
次期繰越金		0	0
負債合計			349,973

上記のとおり報告いたします。

令和7年1月14日

全国ソーシャルケア連盟

会長 笹岡 眞弓

上記のとおり相違ないことを確認しました

鎌倉 克英 印

第2号議案

令和7年度の活動計画について。第一に取り組むべきは、会員募集です。会員は収支報告にありますように、赤字で決算しております。今年度は会員募集のために、以下の行動を行います。

1. わかりやすい連盟の活動内容を示すチラシを作成し、連盟の活動が会員の入会動機につながるようなものを考え、配布します。
2. 議員連盟の役員並びに議員連盟会員の国会議員を中心に、福祉制度、社会保障及び保健医療に関する制度に関する勉強会をオンラインで開催し、質疑応答の時間を設けるなど、福祉専門職の業務にかかわる政治について、繋がる場を提供します。
3. 政治に関する講演会をオンラインで開催し、
4. 会費の納入の仕組みをさらに簡便にする仕組みを実施します。
5. 夏の参議院選挙には、連盟としての目標に賛同する候補者を選び、応援します。
6. 来る衆議院選挙時にも、4と同じ活動を致します。

さらに福祉専門職のさらなる位置づけを目標にしている政治連盟ですので、福祉専門職の職能団体及び福祉専門職の養成団体の政策への要望をとりまとめ、積極的に要望活動を行い、その実現に向けて努力致します。

各職能団体と養成団体の5団体の協力を得て、47都道府県が1県あたり10名の会員を獲得すれば、500名の会員獲得は達成可能だと思います。そのためにも上記の具体的な活動に真摯に取り組みます。

以上

令和7年度予算案

自／令和7年1月1日 至／令和7年12月31日

1 収入簿	収入総額		1,796,655
	前年繰越額		251,005
	本年収入額		1,545,650
			備考
1 個人の負担する党費又は会費	1,494,000		3,000×500名(うち2名は昨年預かり金あり 1都道府県20名が目標)
2の1 寄附(政党匿名寄附を除く。)	50,000		
(寄附のうち寄附のあつせんによるもの)	0		
2の2 政党匿名寄附			
3 機関紙誌の発行その他の事業による収入			
(1) 機関紙誌の発行事業	0		
(2) 政治資金パーティー開催事業	0		
(政治資金パーティーの対価に係る収入の内訳)	0		
(政治資金パーティーの対価に係る収入のうち対価の支払のあつせんによるものの内訳)	0		
(3) その他の事業	0		
4 借入金	0		
5 本部又は支部から供与された交付金に係る収入	0		
6 その他の収入	1,650		銀行利子

2 支出簿	支出総額		1,473,823
1 経常経費			備考
(1) 人件費	600,000		昨年繰越24,000円含、30,000円×12
(2) 光熱水費	0		
(3) 備品・消耗品費	309,973		昨年繰越109,973円含、郵送費100,000円、消耗品100,000円
(4) 事務所費	0		
2 政治活動費			
(1) 組織活動費	500,000		政治家勉強会出席 100,000×5
(2) 選挙関係費	0		
(3) 機関紙誌の発行その他の事業費	0		
ア 機関紙誌の発行事業費	0		
イ 宣伝事業費	60,000		HP作成及び保守 5,000×12
ウ 政治資金パーティー開催事業費	0		
エ その他の事業費	0		
(4) 調査研究費	0		
(5) 寄附・交付金	0		
(6) その他の経費	3,850		振込手数料 770×5
3 次期繰越			
(1) 人件費	0		
(2) その他の経費等	0		